

9. 音楽療法で障害児の社会的、身体的な発達を促進する

グループ名 音楽療法ぐるーぷ響

代表者 鈴木容子

① 活動の目的

- ・発達障害児へ、休日に少人数制のグループ音楽療法の場を提供する
- ・音楽療法によって、社会的生活の質の向上、良好な行動への変容をめざす
- ・障害児を育てる保護者同士の情報交換の場を提供し、また余暇の際の居場所づくりとしての役割を果たす

② 活動概要

発達に心配のある子どもたち（自閉症児、ダウン症児、知的障害児）に対して、少人数のグループ音楽療法の活動と、指導者と1対1の個別の療法活動を実施した。

集団療法は、月1回日曜日に、厚木市の公共施設で行っており

「歌」「楽器活動」「身体活動」などで療育を行った。個別療法としては、ピアノ演奏、聴音、音楽を聴いて絵を描く、音楽に合わせて楽器演奏など、集団ではできない、ひとりひとりの特性に配慮した活動を実施した。

スタッフは音楽療法専門セラピスト4人とピアノ講師が5人、合計9名で活動を行った。

購入させていただいたトーンチャイムと電子ピアノでより充実した音楽療法の幅が広がって今まで以上に良い質の内容のものを提供できるようになった

③ 決算報告書

収 入 大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出	
音楽療法用楽器【スズキトーンチャイム】購入費	78,500円
ヤマハ 電子ピアノ P-255 (持ち運び可能なピアノ)	148,110円
合 計	226,610円

購入品①スズキトーンチャイム

楽器を使用しての演奏画像

子どもたちが手に持っている長い棒のようなものがトーンチャイムです



トーンチャイム奏の活動の様子



楽器の近影



活動の様子



活動の様子



電子ピアノ



購入品 ② 電子ピアノ
みんなで演奏 楽器も一緒に

